

フロア案内

| | | | | | |
|------|--------------------------|--|----|----|-------------|
| 屋上2F | 屋上ヘリポート、機械室 | 高層水塔 | | | |
| 屋上1F | 機械室、設備機器置場 | 機械室 | | | |
| 12F | 展望ラウンジ | | | | |
| 11F | 病床75床(一般) | | | | |
| 10F | 病床88床(一般) | | | | |
| 9F | 病床88床(一般) | | | | |
| 8F | 病床88床(一般) | | | | |
| 7F | 病床88床(一般) | | | | |
| 6F | 病床74床(小児・無菌) | | | | |
| 5F | 病床62床(NICU・GCU・MFICU・産科) | | | | |
| 4F | 機械室、医療情報部、機械室 | ISS | | | |
| 3F | 外来診療・食堂 | 手術部 | | | |
| 2F | 外来診療 | 病床48床(ICU:成人、ICU:小児、HCU)、血液浄化療法部、医療情報部 | | | |
| 1F | 外来診療 | 救急部、画像診断(MRI・CT・一般撮影)、薬剤部、けやきプラザ | | | |
| BF | 給食、倉庫 | 物流センター、機械室、電気室 | | | |
| A棟 | けやき楼 | B棟 | C棟 | D棟 | 地域医療システム研究棟 |



UNIVERSITY of TSUKUBA HOSPITAL

 筑波大学附属病院
University of Tsukuba Hospital



筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1
Tel. 029-853-3900(病院代表)
www.s.hosp.tsukuba.ac.jp



医療の新たなステージへ

筑波大学附属病院は、数々の先進的な医療設備を配し、従来の診療能力を飛躍的に向上させ、療養環境も刷新しました。社会資産をいかに活用し、「明日の医療・医学を創る」ことができるかが私どもに課された大きな責務であると肝に銘ずるとともに、大学として高度な医療を提供するばかりでなく、必要に応じた情報の提供、あるいは教育・支援を通じて、市民の方々に健康や医療のことをもっと深く理解していただくことが重要であると考えています。本年度はつくば市との連携で「つくば市バースセンター」が大学病院の中でスタートすることになっています。茨城県内の臨床教育・研究のための拠点充実とさらなる拡大も計画されており、この中で次の時代を担う多くの医療人を育成する仕組みを並行して進めていくことが重要でしょう。筑波大学附属病院は医療に関連するさまざまな事業、学問、政策、経済、社会意識等々を視野に入れつつ歩み続けます。

100m Bird View

高度100mから見るけやき棟。
筑波山を背景とした緑多い研究学園都市に、白い外壁と屋上ヘリポートの赤が映えます。



メインエントランス

Main Entrance

県内唯一の特定機能病院として、理想的な医療環境を整え、先進医療や幅広い地域医療支援をさらに向上させるため、病院機能を充実し、利用しやすい空間づくりをしています。

1 正面玄関

遠くからでも目に入る大きな庇が目印。雨の日も安全に来院でき、災害時は庇下スペースを活用できます。

2 アートスペース

通路の壁に心なごむ写真作品などを展示しています。気軽に足を止めて鑑賞できるコーナーです。

3 エントランスホール

中庭や天窓から自然光が射し込む、明るく開放的な空間。スペースにゆとりがあり快適に来院できます。



PFI事業の導入による取り組み

けやき棟の整備・運営は、国立大学病院で初のPFI (Private Finance Initiative) 方式を導入。これは、公共施設等の建設・維持管理・運営等を、民間の資金・経営能力・技術的能力を活用して行う新しい手法です。



4 総合案内

初診・再来受付のしかた、診察室や検査室の場所などさまざまな質問に答え、わかりやすく案内します。

5 入退院センター

入院・退院に関する相談や手続きなどの業務を集約。患者さんやご家族をていねいにサポートします。

6 薬剤

個別の相談に応じて調剤するほか、時間外処方にも対応します。



入院環境

Hospitalization

患者さんやご家族が安心して医療を受けられる設備を充実。
 プライバシーに配慮し個室を増室、多床室も1室4床までとし、
 差額病床や女性専用病床も設けて多様なニーズに応えます。

1 4床室

従来の5床室をなくして4床室のみとし、ベッド周りに十分なスペースを確保。窓も大きく開放的です。

2 1床室

プライバシーを保てる1床室を増室。個室ニーズに応え、利用しやすくしました。

3 1床室（無菌病床）

主にがん治療や移植治療の患者さんを対象とした、清浄度クラス100を維持できるクリーンルームです。

4 入院フロア

フロア全体を見渡せる開放型のスタッフステーションを配置しました。



5 1床室ビジネスタイプ

より快適な療養環境を求める患者さんのため、調度品や設備などハイクラスな病室を用意しています。ソファセット、クローゼット、バス、トイレなど設備が充実。インターネットの接続も可能です。

6 4床室（個室的多床室）

各ベッドサイドに個別の窓を設け、個室的な雰囲気でも療養できるようにベッドの配置も考慮し、トイレも設置しました。

7 スタッフステーション

患者さんやご家族が声をかけやすく、同時に充実したチーム医療を可能とするオープンな設計です。



ケアが行き届く 安心で快適な環境



小児・周産期医療

Children and perinatal care

総合周産期母子医療センターおよび小児総合医療センター、小児集中治療センターの3つが連携し高度専門医療を提供。また、つくば市と連携し「バースセンター」を開設しました。

1 陣痛室・分娩室

あたたかみのある仕様で、妊婦さんの安全と快適性を両立させています。



MFICU (母体胎児集中治療室)

ハイリスク母体・胎児に対応できるよう最新の医療機器を備え、24時間質の高い医療を提供できる環境を備えています。



つくば市バースセンター

筑波大学とつくば市が協定を結び、産科医が立ち会って、助産師と協働で行う独自の院内助産システムを整備しました。産科医が不足するなか、助産師や医師の育成と、つくば市における出産環境の向上を目指します。



命の誕生を支え 母と子の希望のために



2 NICU (新生児集中治療室) GCU (新生児回復治療室)

新生児専任の小児科医、小児外科医と看護師がチームを組み、小さく生まれたり、手術が必要あるいは先天的な病気を持つ赤ちゃんたちを24時間体制で治療します。

3 小児ICU (集中治療室)

小児・新生児外科、小児専属の脳神経外科や心臓血管外科の医師が揃い、重症度の高いお子さんを365日24時間受け入れます。

4 つくばの森の芸術作品

芸術によって病院内を優しく居心地のよい空間とする「ホスピタルアート」に、筑波大学芸術系と共同で取り組んでいます。



5 プレイルーム

医療保育専門士が小児の患者さんやそのご家族に対応。療養環境の向上とチーム医療の拡充を目指します。



高度先端医療

Highly advanced medical treatment

高度先端医療により、充実した急性期医療を提供します。
手術室は全16室を備え、中規模・大規模手術室も新設。
手術件数の増加に対応するため、重症病床も増床しました。

1 陽子線治療

陽子線治療は、がん治療に用いる新しい放射線治療です。陽子を光速の69%まで加速し、回転ガントリーによってミリ単位の調節をして患部に照射します。従来のX線治療や手術よりも負担の少ない治療法として注目されています。



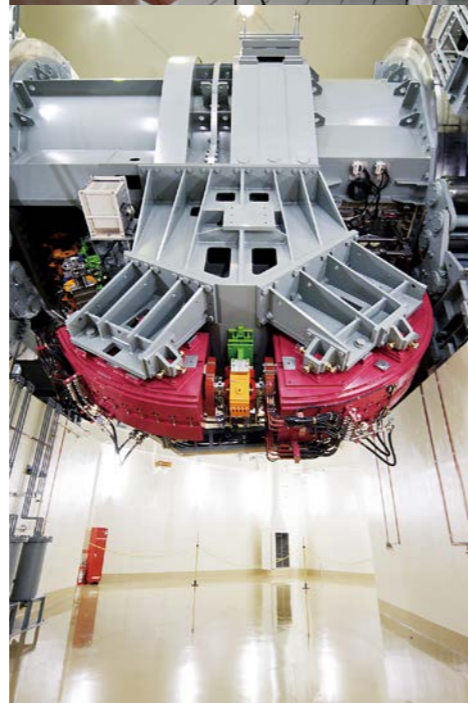
2 ICUオープンベッド

急性期の患者さんに総合的かつ専門性の高い診療を行う特定集中治療室。他にICU個室も完備しました。



3 術中MRI手術室

ガントリー移動型の術中MRIを導入。患者さんを動かさずMRI装置を移動して撮影できる日本初の装置です。



4 アンギオグラフィー手術室

最新X線血管造影装置に高性能手術台を一体化したハイブリッド手術室。「FlexMove」という国内初のシステムを採用しました。



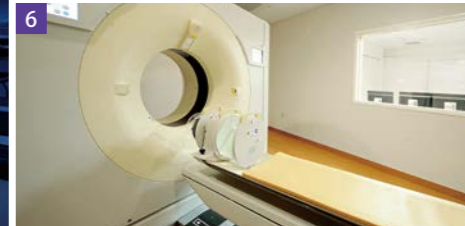
5 MRI (3T)

1.5T装置の他に3T装置を導入。患者さんの症例に合わせて検査を行います。



6 CT (256列)

標準的な64列を大きく超える256列マルチスライスCTを導入。画像撮影の速度が格段に向上します。



科学と医学を融合した 高度先端医療

救急・災害対応

Disaster risk reduction

365日24時間対応の救急体制を整え、病院間連携も推進。
また、大規模災害時も救急医療の拠点として機能できるよう、
病院建物の構造や設備も含め、幾重にも備えています。

1 救急部門

診察室4室及び救急搬送された患者さんを受け入れる初療エリアを備えています。救急車4台が同時に乗り付けることができ、素早くスムーズな初療対応につなげます。

2 ヘリポート

ドクターヘリや災害時のヘリ受け入れも可能。直結エレベータで救急初療エリアへ迅速に搬送します。



3 血液浄化療法室

血液透析や腹膜透析など、あらゆる血液浄化療法に対応。個室1室を含む全15床を備え、大規模災害時には透析患者さんの受け入れを行います。

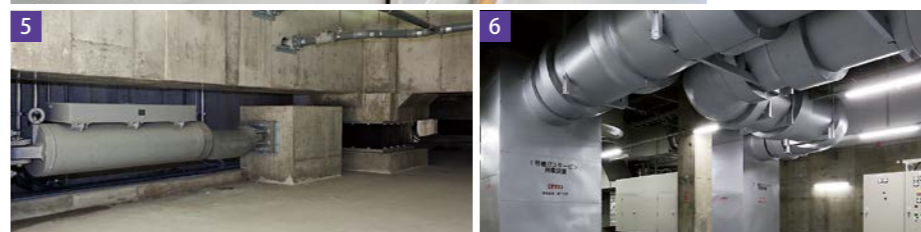
4 ホスピタルモールの医療用電源・医ガスのアウトレット

エントランスホールの一隅に、災害時のトリアージスペースを確保。移動式ベッドに転用できるソファなど、重篤な患者さんを収容・処置できる設備を完備しています。



5 地下免震層

大規模地震時に入院患者さんの安全を守り、被災した患者さんにも医療を提供できるように免震構造を採用しました。



6 自家発電設備室

災害時にも病院機能を3日間（最大5日間）維持できる自家発電機を備えています。

緊急事態に備え

2 万全の態勢が生む安心



開かれた病院

Open-door hospital

患者さんやご家族のための利便施設を充実するとともに、地域住民に開かれた親しみやすい附属病院とするため、コミュニティ空間を設けてメッセージを発信していきます。

1 展望デッキ

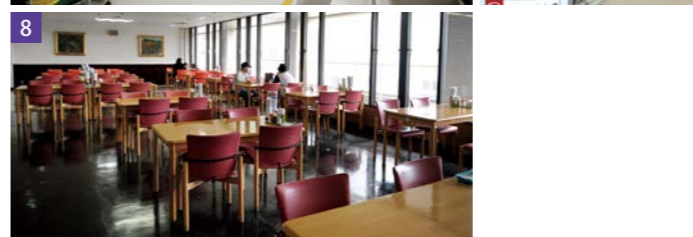
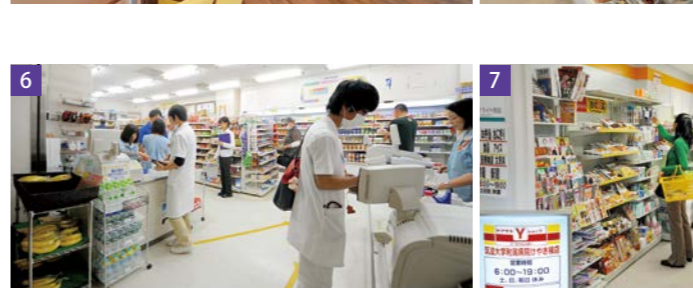
緑を植栽した12階オープンデッキから、筑波山と学園都市を一望。リフレッシュできる空間です。



訪れる人が利用しやすい 快適な空間と施設

2 けやきプラザ

地域のコミュニティスペースとして、イベント、展示、シンポジウム、会議など多目的に活用します。



3 駐車場

650台停められる立体駐車場を完備。隣の平面駐車場150台と併せ、計800台を収容できます。

4 展望ラウンジ

眺望の開けた12階に、お茶や軽食を楽しめる憩いのスペースを用意しました。

5 ケータリング

昼食の時間帯に合わせ、展望ラウンジ入口で弁当や軽食、コーヒーを販売しています。

6 売店

食料品、書籍、果物、衣料品、日用雑貨など、豊富な品揃えです。

7 サテライト売店

けやき棟1階にある売店は、通路に面しているため便利です。

8 食堂

豊富なメニューが揃い、ドリンクバーを併設。お子さん連れやお弁当持ち込みで利用しやすいよう、ソファも用意しました。

9 オープンカフェ

ロビーの一角にこつろげるカフェ。コーヒーや軽食をゆっくりと味わえます。

10 コーヒーストア

気軽に立ち寄って各種ドリンクを買える、カウンター形式の店です。